

月	日	()	曜	()	時限	検印	
---	---	-----	---	-----	----	----	--

5 栽培の流れを理解しよう

種まきから収穫までの栽培の流れを確認し、主な栽培方法を決めよう。

スイートコーンの栽培暦（露地マルチ栽培・中間地）

月旬	4			5			6			7		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
作付	○										□	
主な作業	耕うん・元肥施肥	うね立て・マルチング	種まき	間引き	マルチ除去	追肥・中耕・土寄せ・除草	害虫防除	追肥・中耕・土寄せ・除草	害虫防除			収穫

本学習ノートでは、マルチ栽培による方法で説明する。マルチをすることで、早まきでき、生育が促進され収穫が1週間ほど早まる利点がある。

畑の選定

スイートコーンは光を多く必要とするので、日当たりのよいところを好む。土壌に対する適応性は広いが、土壌酸度はpH5.5~6.5が最も適していて、深根性で耕土が深く、有機物を多く含んだ肥沃な土が好ましい。

なお、近くの畑に異なる品種を作付けすると子実の品質が低下する**キセニア**という現象が発生することがあるので注意する。（※キセニアについては、p35を参照）

直まき栽培と移植栽培

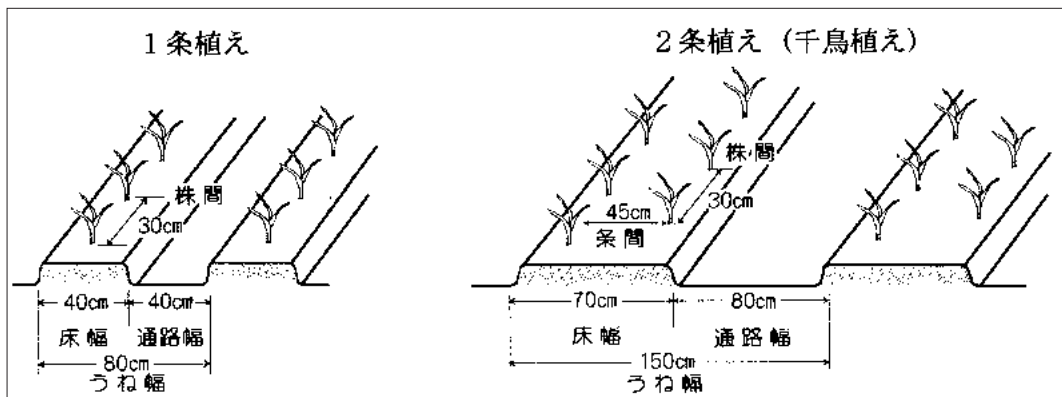
作物の栽培方法には、^{じか}直まき栽培と移植栽培の2つがある。直まき栽培は畑に種を直接まく方法で、移植栽培は育てた苗を畑に植え付ける方法である。

スイートコーンでは、直まき栽培が一般的である。ただし低温期のトンネル栽培などでは、セルトレイやペーパーポットなどで育苗して移植栽培することが多い。

栽植様式・栽植密度（単位面積あたりの植え付け株数）

栽植様式とは、植え付け間隔のことで、図のよう^{かぶま}にうね幅と株間などで示される。1うねに1列植え付ける1条植えと、1うねに2列植え付ける2条植えがある。うね幅とはう

ねとうねとの間隔、株間とは株と株との間隔、^{じょうかん}条間とは列と列の間隔をいう。
 学校農場でプロジェクト栽培に取り組む場合、通路幅は少し広めのほうがよいでしょう。



栽植模式図

一般的な栽植様式（栽植密度）例

	うね幅 (cm)	条間 (cm)	株間 (cm)	株数 / 10 a
2条植え	150~160	45~50	30	4,440~4,160
1条植え	75~80		30	4,440~4,160

栽植本数 = 栽培面積 ÷ (うね幅 × 株間)

※ 2条植えの場合は、上記で求めた栽植本数を2倍する。

■栽培をスタートするにあたり、主な栽培方法を決めよう

- | | | | | |
|---|--------|---|--------------|---|
| 1 | 作型は | (| |) |
| 2 | 作付け方法は | (| 直まき栽培 ・ 移植栽培 |) |
| 3 | マルチングは | (| する ・ しない |) |
| 4 | 栽植様式は | (| 1条植え ・ 2条植え |) |

(※栽植様式の詳細は p23に記入)

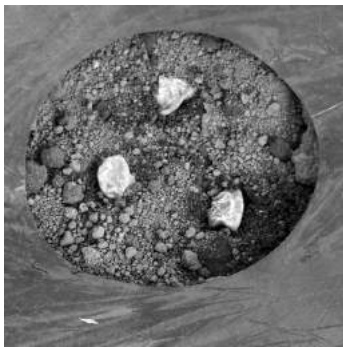
メ モ

月	日	() 曜	() 時限	検印
---	---	-------	--------	----

10 種まき

マルチ栽培では、マルチ穴に直まきすることが多い。スイートコーンの種子は発芽力が弱く、1粒まきでは発芽しないことがあるため、1カ所に2～3粒ずつ点まきする。種子を2～3cmの深さにまき、土をかぶせ（**覆土**）、軽く手で押さえる（**鎮圧**）。種まき後、土が乾燥しているときはかん水する。

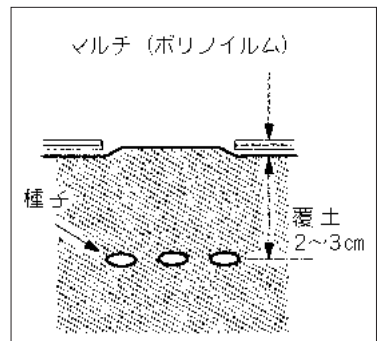
種まきの手順



種子の間隔を2cmほどあけて種をおく。



種子を指の第1関節くらいまで押し込む。空き缶などの底を利用して穴をあけてまいてもよい。



種子の深さ・覆土の厚さは2～3cmでいど

齊一に発芽させる種まきのポイント

- ① 種子をまく深さ（覆土の厚さ）は、種子の2～3倍が一般的である。
（覆土が浅いと種が浮き上がりやすく、深すぎると出芽不良となる。）
- ② 鎮圧は種子を土壌と密着させ、水分の蒸発を防ぎ種子の水分吸収をよくする。
- ③ 地温を確保してから種まきする。（15℃以上あるとよい。）
- ④ 適度な水分状態にする。土壌が乾燥しているときは、かん水してからマルチをする。

● トウモロコシの種子はなぜ赤いのか？

私たちが食べるトウモロコシは黄色や白色をしているが、市販の種子は赤い色をしていることが多い。これは土壌病害や鳥による種子の食害を防ぐため殺菌剤をまぶしているからである。

● 畑での種まきだけで大丈夫？（補植苗）

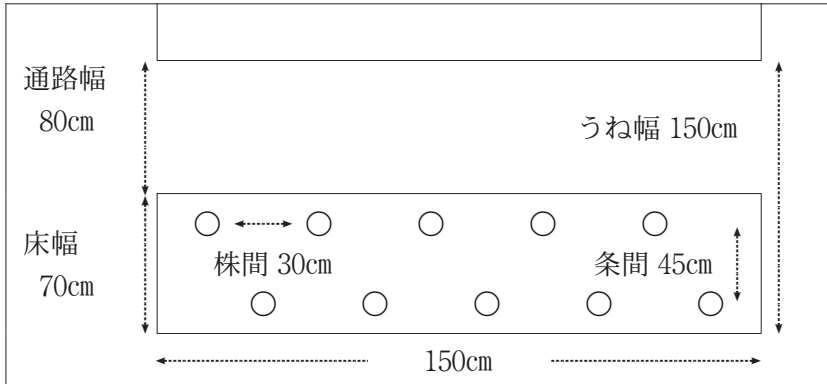
せっかくまいた種子も発芽不良などによって1カ所に1本もないことも考えられる。セルトレイやポリポットなどに、あらかじめ補植用の種子をまいておくとよい。

■種まきに必要な種子数は？（実際に計算してみよう。）

- ① 畑1列の長さ ÷ 株間 = 1列に種子をまくカ所数
 ② 1列に種子をまくカ所数 × 1カ所にまく種子の数 = 1列に必要な種子数

●種まき例模式図例（2条植え）

1区10本植え、担当区面積2.25㎡（1.5m×1.5m） ※○印は種まきカ所



■種まきの記録をしよう

自己担当区模式図

※○印は種まき（植え付け）カ所

栽植様式		担当区面積（ ）㎡	
うね幅	cm	（ ） 条植え	条間 cm
株間	cm	床幅 cm	通路幅 cm
1カ所（ ）粒まき	種まき（ ）カ所	植え付け本数（ ）本／1区	

23 プロジェクトのまとめ

1 栽培の概要

プロジェクト名			
プロジェクトの目標			
実施場所・面積			
品種名		【早晩性】	
品種の特性			
種まき日		収穫日	
主な栽培方法	【作型】 () 栽培		
	【作付け方法】 (直まき栽培 ・ 移植栽培)		
	【マルチング有無】 マルチング (する ・ しない)		
	【栽植様式】 () 条植え		
調査・観察項目			
備考欄			

2 栽培の実施

(1) 自己担当区模式図

○印は種まき（植え付け）位置

栽植様式

担当区面積（ ） m²

うね幅	cm	() 条植え	条間	cm	
株間	cm	床幅	cm	通路幅	cm
1カ所 () 粒まき	種まきカ所 () カ所	植え付け本数 () 本 / 1区			

(2) 施肥設計

(面積) 単位：kg

肥料名 (%)	元肥	追肥	成分量		
			N (窒素)	P (リン酸)	K (カリ)
合計					